

■実施の趣旨

現在策定中の総合計画において、町民の皆さんから意見を広く出していただくよう、公共施設や町内商業施設において、パネルディスカッションを行いました。

■ワークショップ内容

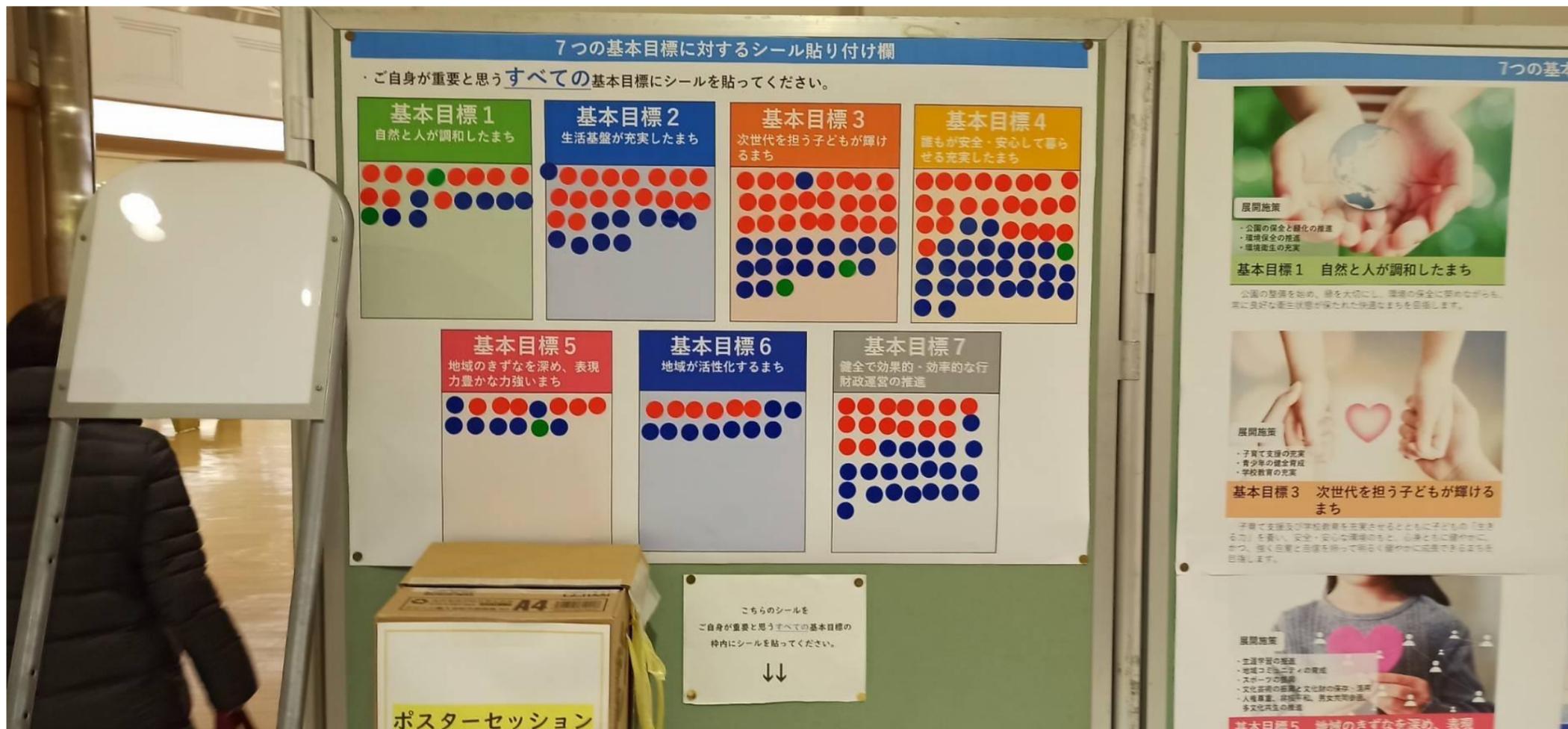
実施期間 12月23日～1月6日

実施場所 さわやかホール、広陵中央公民館、広陵町立図書館、はしお元気村
グリーンパレス、スーパーセンターイズミヤ広陵店、エコール・マミ



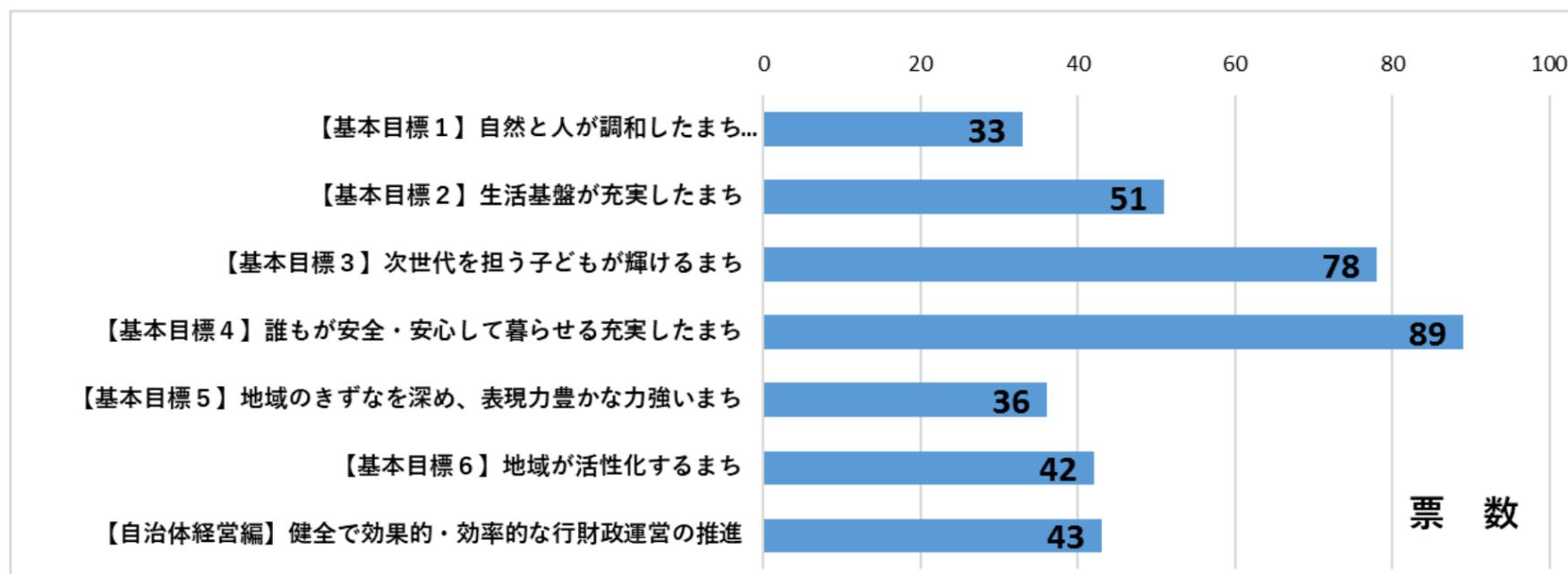
総合計画の概要、人口ビジョンによる将来の人口推計、アンケート調査結果などを貼りだした上で、将来の広陵町において、どの施策が重要だと思うか、また、具体的にどんな事業を行うのが良いか、意見を求めました。

▲ 広陵町立図書館でのポスターセッション



▲ エコール・マミでは、多くの方にご参加いただきました

★「将来広陵町がよくなるために重要と思う基本目標（複数回答）」



★「将来広陵町がこうなってほしいな」と思う「理想像」

- ・上下水道、生活基盤が堅い、安全安心な町(防犯の面でも)
特に子供たちが元気にのびのびと育てられる公園があり、にぎやかな声が聞こえるような緑豊かで、鳥などの生き物も住みやすい町
- ・ムーンショット計画に基づいたデジタル田園都市の実現のためのIT企業の誘致をする
- ・環境都市として情報発信ができる町
再エネ導入を支援して電気代無料を実現する町
- ・自然の良さを活かし、このまま残して欲しいと思います
また、田や畑も残せるよう農業をされている方々への支援も必要だと思います
交通の便や買い物の便については地域によって差があるので高齢者が増えていく中で対策を考えていただきたいと思います
- ・すべての人が楽しく笑顔で過ごせる町
助け合いが自然にできて人と人のつながりがしっかりある町
- ・高齢者が住みよい町
- ・今のままでいいと思います
- ・老後も安心して、車なしでも買い物に行けたり(バス・タクシー)、いろんなサークル活動のようなものも開いて欲しい
- ・環境が美しい、放置家屋がない、人とのつながりがある
- ・公園がきれいでうらやましいです、お世話大変ですがご継続ください
- ・年をとって手助けが必要になればサポートしてほしい、出来るだけ安い金額で
- ・町が活性化する方策を常に考え、他の市町村がうらやましくなるような町になって欲しい
- ・近鉄電車にはたらきかけて五位堂駅と田原本駅の間に鉄道をひき、グリーンパレス、広陵町役場近くに駅を作る、そこに大型商業施設を持ってくる、そうすれば人口も増え、町が活性化する、予算については知恵を絞る、お金の余っている人はたくさんいる
- ・バスの運行数を増やして欲しい、色々な海外の国と連携をとって文化を交流し、お互いを知り、広めたい
- ・SDGsに専念して先進都市(町)を目指す、地場産業の取り組みを全国にアピールしてモデルとなること
- ・衣食住+α【アートで音楽が溢れる町】音楽やアートに触れることで赤ちゃんからお年寄りまで心が豊かになるそんな素敵な町になったらいいなあ
ライブ、展覧会など、どんどんイベントを開いて制限なく街中で踊り出すぐらいに自由にみんなが感性豊かに暮らしていけたらきっと楽しいはず！
特に子どもたちには衣食住以外の楽しさを知ってほしい
- ・土地の坪単価が高い割に若い世代向けの補助金はなく、特に住宅に関しては親世代が町内に居る前提の補助金のみであり、新しい人を受け入れる前提はない町と感じた

- ・高齢になっても、認知症になっても地域で安心安全に暮らせるまち
子どもも高齢者も、みんながいきいきと、お互いを認め合い理解しあえるまちになればいいなと思います
- ・元気にずっと住めるような地域との繋がりがあり交通機関の使い勝手が良く、自らやりたいことが亡くなるまで出来るような町
子どもが大人を疑わなくても生活出来るような安全、安心な町
- ・1) コア事業を作り、雇用が創出され、新たな事業を継続し、発展できる町
2) 町内に小中、高校、大学があることを強みにして、人材育成基地となる町
3) ベッドタウンと在来地区を有機に融合する町
4) 住む人にとって忘れられない「ふるさと」となる町
5) 役場職員と住民との連帯感が強い町
現時点、役場が挙げた基本目標には、広陵町この地で自ら持続可能な事づくりや人づくりの要素がほとんど感じられない、従来の他力本願や一般的な言葉にとどまっている感が強い

★実現するためにご自身ができること

- ・住宅の敷地内に木を植える、近所の人には挨拶をして声をかける
- ・IT企業の誘致に力を尽くしたい、住宅屋根にPV+蓄電池を導入する(導入済)
- ・日々の生活に追われ自分のことだけを考えてしまいがちですが、子供たちのために今だけがいいのではなく、これからのことを考えていきたいと思っています
私も含め、町のこと社会のことを考える人がもっと増えれば良いと思います
- ・コロナだけでなく、きちんと感染対策をして、会う人にあいさつをしたい
小さな事でも話題を見つけて話しかけるようにしたい→でない、つながりがなくなってしまう
- ・このセッションが実施されていることをもっともっとPRすべきでした
この期間は冬休みで目にする事がなかった！
- ・ボランティア等で参加できることがあれば参加していきたい
- ・散歩の際のゴミ拾い(袋は町が提供してください)
- ・健康寿命を延ばし最後まで自分の力で歩きたい
- ・その方策について、色々な場面で発信することかと思いますが、なかなか住民の声は聞きにくいと思われる
議員さんをお願いすることは苦情としてしか伝わらないことがとても残念です
広く声を聞くことで何か方策が見つかるかと思っています
- ・企業を誘致して税収を上げる、新しいまちづくりを目指す、優秀な人材を集める
「いなかの町」で終わらせないために
- ・インスタやTikTokなどのSNSを有効活用する。特に、短めな動画を配信し続ける！！
- ・再生可能な生活物資を消費する
- ・実際音楽を広陵町で教えているが、みんなが楽しく笑顔になっていく姿を目の当たりにして、もっと広陵町で音楽を広めたい！と強く思いました
演奏できる場所があればいっぱいしたいです!!
- ・地域でもたびたび、認知症高齢者が行方不明になるお知らせをききます
真美ヶ丘地区は高齢化がすすんでいます
地域の交流をふやしみんなが気にかける地域になるように協力できたらと思います
- ・1) 「足の健康、美容」産業の創出、フットパークとなる町の企画と実施、特にICTシステム作り、データセンター作りなど
具体的に、運動やリハビリ前後の足の筋電測定と機器開発、健康や医学的アプリ、スポーツへのサポートアプリとの連携、医学的健康管理用データベースなど
2) 畿央大学と協業し、エビデンスに基づく病気予防、認知症予防の人材育成施設づくりの協力
具体的に、1)の実験サポートと健康促進専門家の育成、町民レベルの健康促進の知識と技能の向上へ
3) 老若男女問わず、町民が歩くだけで実験データが蓄積→健康促進評価→事業→収益の好循環へ上記を総合して、広陵町を「足の健康、美容」産業基地とする企業と人材誘致

ご意見を提出していただいたみなさま、ありがとうございました。